

新潟県知事の東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を容認し、県議会決議により県民の意思を確認するとの表明に抗議し撤回を求める声明

11月21日、花角英世・新潟県知事は、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を容認すると表明し、県議会議決によって「県民の意思を確認する」との考えを示しました。

しかし、県会議員は、再稼働に反対かどうかの争点だけで選ばれたわけではなく、原発を再稼働するかどうかにつき、県議会決議を県民の声と同視することはできません。県実施の県民意識調査で「再稼働の条件が整っていない」が6割もあることからも明白です。

日本全体を危機に陥れる原発事故を二度と許してはならないことは当然です。福島原発事故を起こした東京電力に原発の再稼働を許すかどうかは、原発の安全性を確保する上で、最重要的論点であり、慎重な判断が求められます。

柏崎刈羽原発の現状は、テロ対策施設や避難道路は未だに未整備であり、6号機の制御棒が抜けないなどトラブルも続いている有様です。現時点で、同原発が安全に再稼働できる状態になっていないことは明白です。

そのような状態であるにもかかわらず、花角英世・新潟県知事が、再稼働賛成派が過半数を占める県議会の同意を得て、県民の同意があったとして、拙速に柏崎刈羽原発の再稼働を認めようとする姿勢は、県民の命と財産、そして日本全体の安全をないがしろにするものであり、到底容認できません。

私達は、知事の姿勢に断固抗議すると同時に、知事の再稼働を容認するとの表明、県議会の判断をもって県民の意思に代えようとの表明を直ちに撤回するように求めるものです。

2025年12月15日

原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会実行委員会